

がんの一次スクリーニング検査

N-NOSE<sup>®</sup>

あなたの“がんリスク”に関する

結果報告書

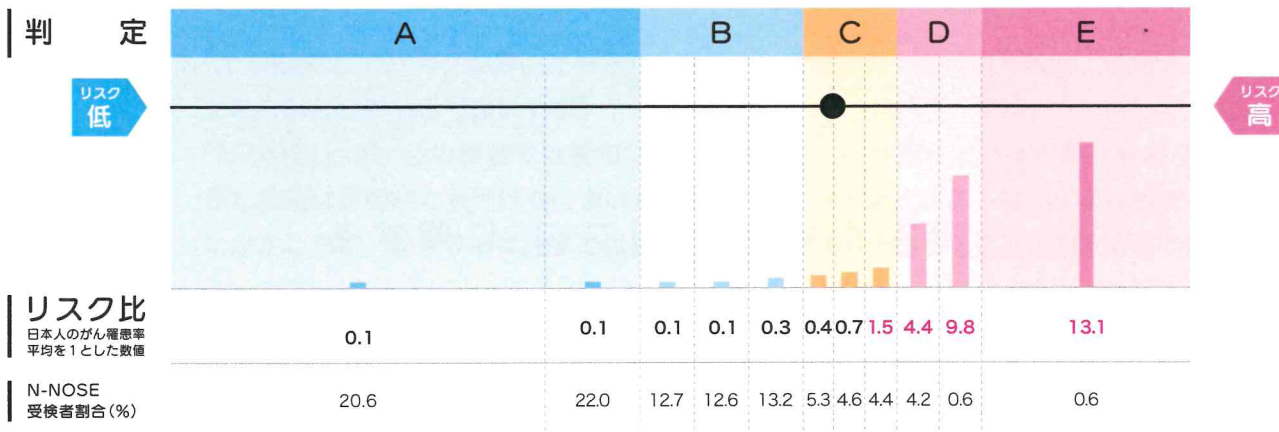


# 結果報告書

氏名： 林 哲也 様  
検体受付番号： 2224000213088  
年齢： 45 歳  
性別： 男性  
受付日： 2024/03/15

## 検査結果

あなたのがんリスク判定 **中程度** C判定



N-NOSE 検査結果は線虫の反応をもとに連続的な数値として出力されます。あなたの結果を表す点が、左に行くほど低い値（低リスク）、右に行くほど高い値（高リスク）であることを表します。点線で区切られた領域におけるリスク比、受検者割合を下部に示しています。あなたの結果の点が入った領域のリスク比、受検者割合をご参照ください。

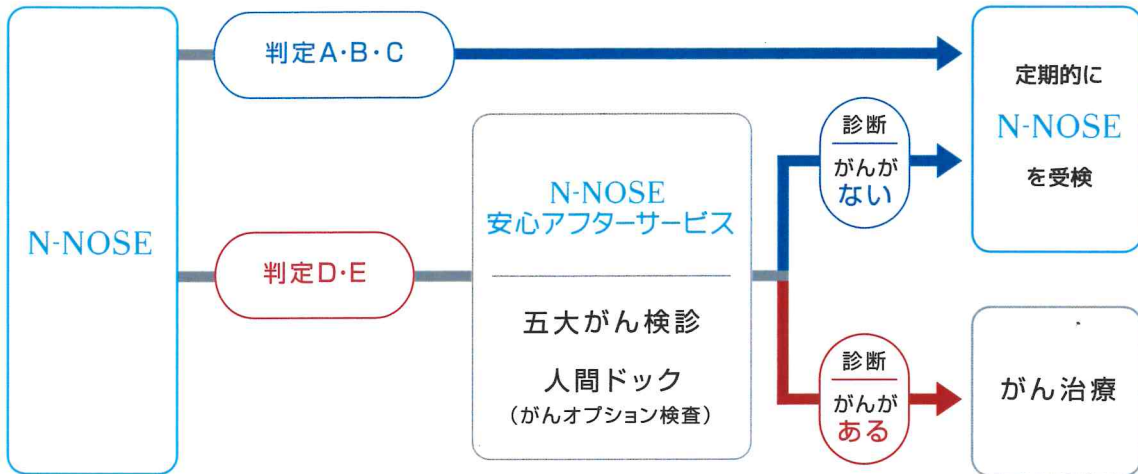
## 総合評価コメント

今回の結果は、「中程度リスク」でした。当検査は、尿の中にがんの匂い成分が含まれるか否かを線虫の嗅覚を用いて調べるもので、適正な環境下で一定の期間、数十回の解析を行った結果、線虫が一定以上の反応を示したために中程度のリスク値となりました。期間をあけてのN-NOSEの再受診や、他のがん検査（次ページに説明のある五大がん検査等）も受診することをおすすめします。検査は一般的に、期間をおいて再度受けることで精度が上がりますし、また他の検査もあわせて受けることで多角的な判断ができるためです。今後は半年から一年に一回N-NOSEの定期的な受検をおすすめします。また、毎年の職場や地域での定期健診や人間ドック、五大がん検診をはじめとするがん検診は必ず受けましょう。

# N-NOSE 受検後の流れ

検査結果に基づいて、医療機関等への相談が大切です。このフローはがん検査に関わる一般的な例です。性別・年齢や体調や生活習慣、既往歴等により状況は異なります。ご不明な点があれば、医療機関や専門医のアドバイスを受けることをおすすめします。

## 早期発見につなげるために（参考例）



複数の検査を組み合わせると、精度の高い診断ができ、早期発見へつながります。

※厚生労働省は、定期的な五大がん検診の受診を推奨しています。

## ■五大がん検診について

厚生労働省は、胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がんについて、定期的ながん検診を受けることを推奨しています。

お住まいの市町村では、健康増進法に基づいて、がん検診を実施しています。ほとんどの市町村では、がん検診の費用の多くを公費で負担しており、一部の自己負担でがん検診を受けることができます。なお、おとつめの職場や、加入する健康保険組合等でもがん検診を実施している場合がありますので、ご確認ください。

<p><b>胃がん検診</b> 50歳以上の男女 (2年に1回)</p> <p>当分の間、胃部X線検査については40歳以上、年1回の実施もできます</p>	 <p>胃内視鏡検査</p>	 <p>胃部X線検査</p>	<p><b>肺がん検診</b> 40歳以上の男女 (1年に1回)</p> <p>高危険部には喀痰細胞診も併用できます。</p>  <p>胸部X線検査</p>
<p><b>大腸がん検診</b> 40歳以上の男女 (1年に1回)</p>  <p>便潜血検査</p>	<p><b>子宮頸がん検診</b> 20歳以上の女性 (2年に1回)</p>  <p>細胞診</p>	<p><b>乳がん検診</b> 40歳以上の女性 (2年に1回)</p>  <p>マンモグラフィ</p>	

※厚生労働省ホームページの「市町村のがん検診の項目について」を参考に作成

N-NOSE 検査についてのお客さま相談窓口

Tel. 0570-011-162